

ちば里山新聞

(第 55 号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

森づくりのヒントいろいろ・・・「里山巡回相談」を活用ください

「里山巡回相談」は、設立当初から続いているちば里山センターの主要な業務のひとつですが、森づくりのプロの現地指導が受けられ森づくりのヒントが得られることから、里山団体からの利用申込も増加しています。普段抱えている悩みや疑問を専門家から直接答えてもらえる機会ですので、有効にご活用ください。最近実施された事例を紹介します。指導は千葉県農林総合研究センター森林研究所の福島所長及び荒木研究員。(問い合わせ:ちば里山センター事務局)

議論共有し、活動目的の“見える化”を

- ◆森の将来像である目標林型を、落葉樹・常緑樹別、林齢などの組み合わせでいくつかのタイプに分けると議論が具体的になる。
- ◆草刈りなども目的に応じてさまざまなやり方がある。(写真:杉林の巡回)

の巡回)

- ◆簡易製材機は、里山センターを通じて協力団体と連携を図る。



一定範囲で伐採し、光を取り入れることも

- ◆暗い森を明るくするために、太くなりすぎているイヌシデやコナラを 20m 四方を皆伐して草地に戻してみるのも方法。
- ◆安全対策:市民の散策の際の安全対策として、危険な樹木を伐採し高所の枝を折り取る。遊歩道の整備等を進めることが望ましい。(写真:コナラ林の巡回)

整備等を進めることが望ましい。(写真:コナラ林の巡回)



“ナラ枯れ”は時間の問題, 観察を要す

- ◆カシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ」は、千葉中部まで広がっているとの情報もある。幹の周上に並ぶ丸穴と根本のリング状の木屑が目印。
- ◆広葉樹の伐採に当たっては相当

の労力を要し、また危険性も高いので安全には十分留意すること。(写真:景観が開け近くの村を望む)



里山じまん ③

松戸里やま応援団

市民参加、森に親しむ “オープンフォレスト”

2003年から開いている「里やまボランティア入門講座」(松戸市主催)の修了生が毎年活動グループを結成し、全てが「松戸里やま応援団△△の会」と名乗っている。現在13グループ。それぞれの森で独立して活動しながら、毎回の活動状況を報告し合い、全体としても「里やま応援団」として月1回の会議を持って連携を保っている。

また、松戸市と協働した入門講座や独自のスキルアップの講座を「応援団」が主体となって開催していることも自慢の一つ。都市化の進んだ松戸では、里やまといっても市街地に残されたわずかな狭い

樹林地。落ち葉対策など近隣住民との折り合いが重要なポイントである。大切なのは森を市民に親しんでもらい、「みどり」への理解を広げること。そのために毎年春に行っているのがオープンフォレスト。ボランティアが入っている森を一齐に市民に公開し、森めぐりツアーも行っている。すでに7回を数え、毎年2~3千人の参加者がある。

さらに、森で子どもたちに楽しんでもらうことを活動の主眼とする若者のチームもできた。幼稚園や学校、子育て団体などからの体験依頼も増えている。そして、女性が大いに活躍している。グループ代表をはじめ、中心的役割を果たしている女性も多い。写真は、オープンフォレストに参加し、整備された森の自然を楽しむ家族。

(代表:野口 功 連絡先:047-345-6086)



「安全で充実した里山ライフを楽しむ」

平成 30 年度ちば里山カレッジ修了

平成 30 年度の里山カレッジは 12 月 2 日の第 5 回で修了しました。今回のテーマは「里山から享受する恵み、森から受ける力や実りを身をもって体験しよう。」というものでしたが、受講生の皆さんいかがだったでしょうか。



回	日程	内容
第 1 回	6 月 24 日	「森の不思議を学ぶ」
第 2 回	7 月 29 日	「都市近郊の里山林保全活動に学ぶ」
第 3 回	9 月 30 日	「チェーンソー入門」
第 4 回	10 月 21 日	「里山のキノコ入門」
第 5 回	12 月 2 日	「森林管理入門」

第 1 回 千葉県緑化推進拠点施設で森林インストラクター広畠真知子さんが森の楽しみについて講義を行い、午後は施設内にある樹木 100 種を観察しました(53号で既報)。

第 2 回 船橋市豊富どんぐりの森で里山林保全作業、樹木伐倒見学に加え、都市近郊における里山の保全や管理について船橋市、松戸市、八千代市の 3 団体から報告をうけました。(写真④)

第 3 回 千葉県林業サービスセンターで木村正敏センター長からチェーンソーの取り扱いについて講義を受け、午後から参加者全員が伐倒木の玉切りを体験しました。(写真⑤)

第 4 回 千葉県昭和の森で森林インストラクター平尾信三氏とともに里山の野生キノコの観察を行い、鶴見治氏と里山活動でのキノコ栽培について学習しました。(写真⑥)

第 5 回 千葉県農林総合研究センター森林研究所の福島成樹所長から里山管理の手法についての講義を受け、午後、きさらづ里山の会のフィールドに場を移し、福島所長の解説とともに森林管理手法の実際を見学しました。(写真⑦)



講習会・イベントのご案内

どうぞ奮ってご参加ください

*事務局に回答のあったものの中から2月～4月に実施されるイベントの紹介です。その他のイベント情報等は、ちば里山センターのホームページをご覧ください。

竹ぼうき・熊手作り教室 主催 おとずれ山の会

竹製品の代表的な道具として古くから使用されている竹ぼうき、熊手を手作りしてみよう。

日時 平成 31年 3月 16日(土) 9:30～14:30

場所 ジャックの森(市原市天羽田)

参加費 500円

申込・問合せ(担当・高橋)

☎ 090-4735-6504 FAX 0438-55-6987

E-mail kjtaka@kba.biglobe.ne.jp

無添加味噌作り体験教室 主催 わたしの田舎 谷当工房

地元の大豆とコシヒカリの麴を原料に無添加で本物の味噌をつくる寒仕込教室。(3月までの期間限定開催)

場所 千葉市若葉区谷当町 70

参加費 2,500円(味噌3kg付)

申込・問合せ ☎043-239-0645(担当・なかにいだ)

開催日等、詳しくは、ホームページをご覧ください。

わたしの田舎 谷当工房

検索

自然観察会「香澄公園の早春の自然」

日時 平成 31年 3月 3日(日) 10:00～12:30

場所 香澄公園(習志野市) 参加費 200円

申込・問合せ (担当・米澤)

☎047-333-8199、080-6402-0555

詳しくは、

東葛しぜん観察会

検索

里山でカップラーメンを食べよう

主催 南房総観光協会

3.5kmの森林セラピーロードを散策し、みんなでカップラーメンを食べるイベント。

<コース>安馬谷青年館→八幡神社→福性院→安馬谷里山→横山宅→順礼堂山前→安馬谷青年館

日時 平成 31年 3月 24日(日) 10:00～15:00頃

場所 南房総市安馬谷青年館(集合)

参加費 500円 事前申込先着 20名様へオミナエシの苗贈呈

申込・問合せ (担当・横山)

☎&FAX 0470-46-3154 090-2758-2407

里親も同時募集

天然記念物の

トウキョウサンショウウオの卵を探そう!

日時 平成 31年 3月 17日(日) 9:00～12:00

場所 袖ヶ浦市代宿(しいのもり) 定員 20名(受付順)

申込・問合せ ☎080-5482-5096(椎の森里山会・赤松)

緑のおもしろ講座 主催 千葉県森林インストラクター会

近郊の自然・地域文化などを楽しみながら学ぶ講座。

一味違った自然を見つけてみよう。 受講料:各 1,500円

『緑のおもしろ講座 千葉』

■ 先人の思いが残る星久喜の春を歩く(野外講座)

日時 平成 31年 3月 23日(土) 10:00～12:00

■ 佐倉城跡周辺の巨樹・古木を巡る(野外講座)

日時 平成 31年 4月 14日(日) 10:00～14:30

申込・問合せ ☎ 080-5048-4390 (担当・森池)

『緑のおもしろ講座 柏』

■ 人は何故、旅に出るのだろうか?

～緑の森を訪ねて～

日時 平成 31年 3月 24日(日) 10:00～12:00

会場 あげぼの山農業公園資料館2階

申込・問合せ ☎ 090-2913-1581 (担当・高澤)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県森林インストラクター会

検索

ふだん入ることのできない民有林を公開

第8回 オープンフォレスト in 松戸 開催

期間中、森めぐりツアーや森を活用したイベントが盛りたくさん。この機会にみんなで森へ行こう!

開催期間 平成 31年 4月 20日～4月 28日まで

主催 オープンフォレスト in 松戸実行委員会、松戸市

問合せ先 ☎090-3313-0921(実行委員会事務局)

オープンフォレスト in 松戸

検索

自然に学び自然を護る

平成 31年度 ちば里山カレッジ 開催

- 6月～12月までの6回コースが今年も始まります。
- 日程・カリキュラムなど詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。

●申込・問合せ ☎ 0438-62-8895

E-mail info@chiba-satoyama.net

ちば里山センター

検索

明治 150 年記念植樹祭

イベント参加リポート

11 月 10 日、鬼泪山県営林での植樹祭に参加しました。

これは、千葉県と千葉県緑化推進委員会が中心となって明治 150 年を記念して開催されたものです。

秋晴れの下、マザー牧場を望む県営林の会場におよそ 100 名の参加者が集合し、花粉の少ないスギのコンテナ苗を植え付けました。この一帯は明治期から県によって森林整備が行われており、現在は千葉県でも有数の美林となっています。

戦後、ほとんど丸坊主だった山を粘り強く整備して、緑を回復したパネル展示もあり、先人の努力に敬意を表し感謝しながら、参加者の皆さんと楽しく植栽してきました。なお、この植樹祭は、県民参加によるみどりの再生事業(事務局:千葉県緑化推進



子どもたちも頑張りました

委員会)の研修の一つになっているとのこと。再生事業は竹林の整備や海岸林の下刈りなどさまざまなプログラムを含み、平成 32 年度まで継続して行われています。一度参加されてはいかがでしょう。(ちば里山センター理事 高橋和靖)

安全コラム①

「安全講習修了証」は安全作業の前提

里山活動状況アンケート(※)では、チェーンソーや刈払い機取り扱い等の安全教育講習(労働安全衛生特別教育等。以下安全講習)の修了証(発行:林業・木材製造業労働災害防止協会)を持たないで機材を使っているケースが多くみられました。確かに、長年の経験に基づいたスキルは貴重であり、一方、修了者にも実践技術が十分に伴わないケースの多いことも事実です。(※=平成 28 年度千葉県実施)

しかし、安全教育の受講は、危険を伴う動力機器の取扱いとはもとより里山作業全般についての安全の基本を理解するとともに、そこからさらに高度な水準に向かう出発点でもあります。“安全”にプロ、アマの違いはありません。森林事業のプロの間で運用されているこの安全講習修了証を、私たちボランティアも里山活動を進めるうえでの前提と考えて受講・取得しておきたいものです。

安全講習は県内各地で行われますが、里山センターが主催するものもありますので利用されるようお勧めします。(まとめ:編集事務局)



里山の風にゆられて ⑪



トサミズキ<土佐水木> マンサク科トサミズキ属

土佐地方に多く、葉の形がミズキに似ているのでこの名があるがマンサク科である。ヒユウガミズキも似ているが葉も花も小さい。写真のトサミズキは黒い 2 個ペアの実が抜け落ちて小さな花芽が春を待っている状態である。

写真・文 赤松義雄(ちば里山センター理事)H31.1.24

～～編集後記～～

◇里山新聞のバックナンバーにはセンター発足 15 年の歴史が詰まっており、手軽に照会したり確認したりできる記録として重宝なものとなっています。◇それだけに編集作業においては、記事の正確性、公正性等が求められますし、同時に紙面が魅力的であることそれには正しく美しい日本語を使うことなどが欠かせないと考えています。◇編集スタッフは必ずしも編集のプロではありませんので作業はしばしば困難を伴います。行き届かない面も多々あると思いますが、常に“読む人の立場に立って情報をよりよく伝える”努力を続けてまいりますので、これからもご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。(K.T)

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896(平日 9:00~17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net ホームページ <http://www.chiba-satoyama.net/>